

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（第1部・第2部特別課程第38期）

熊本県熊本市 迫田 貴美子

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 自治大派遣のきっかけ

2年前の冬の日、当時の上司から「自治大に行ってみらんね？」（熊本弁で「行ってみたら？」）と勧められたのが、きっかけでした。当時は娘に反対され、一旦見送ることにしました。

そして今年の冬、再び声をかけられ、チャレンジしてみることにしました。熊本市は庁内公募制であり、専門職である私が応募しても難しいのではないかと不安もよぎりましたが、周囲の後押しもあり、人事部の面接を経て、無事派遣が決まりました。

2 基本法制（eラーニング）

昨年9月頃、自治大教務部からeラーニングの4つの科目で42時間かかるというメールが届き、年末までに終わらせるスケジュールを立てました。

ところが11月に職場のパソコンの入替作業が入り、eラーニングの学習がストップ。再インストールに時間がかかり、12月中旬になっても学習できない日々が続きました。先に事前課題に取り組み始めましたが、これもまた容易ではありませんでした。テキストを読み、法律を調べ、またテキストを読み返す。そんなことをしながら課題と対策について、自分で考えた後、担当部署に話を聞きに行きました。日ごろからマラソンや庁内で自主的な活動をしていたことで伝手があり担当部署の方々から意見を聞くことができました。

年末年始の休みを利用し、3つの課題につ

いてある程度のレポートを形にし、1月に入りました。

eラーニングについては、派遣1週間前に終わることができましたが、4つの基本法制が事前課題を解くために必要だということを感じました。時間があれば、もう一度基本法制を学んで、事前課題を見直す時間があるとよかったのかもしれない。

また特定政策課題レポートについても、必要な資料をとりあえず集めました。集めながら漠然と文章の流れや提言の内容について考えていったことは実際、レポートを書く場面で役立ちました。

3 研修の始まりと突然の終わりの間で

入寮日の1月29日は同じ研修生の名前も顔もわからないまま入寮オリエンテーションや自治会の役員決めがありました。私は8階フロアでのじゃんけんに勝ち、自治会副会長を仰せつかることになりました。この役割が、経験値を上げる出来事の一つになりました。

その出来事は2月のとある日に突然やってきました。昼休みに重たい空気と共に授業後自治会役員の招集が伝えられ、何かの嚴重注意を受けるのかと考えていました。招集された場所に行くと2部課程の自治会役員と佐々木校長をはじめとした自治大職員の方々が集まり、新型コロナウイルスの影響で研修が明日にでも打ち切りになるかもしれないということを聞かされました。その場で率直な気持ちを聞かせて欲しいと校長から投げかけはあったものの、私たちも公務員ですので、これが緊急事態かつ選択の余地がないことは理解でき、せめて補

講があるか等の代替案についてしか話せませんでした。

その日にフロアー会を計画していた当 8 階では、乾杯を待たせた状態で状況を伝えました。話をする際は、重要かつインフォーマルな情報に基づくこと（これは佐々木校長の口癖でした。）であり、危機管理をしつつ、希望を失わないよう心掛けました。フロアーメンバーは驚き、戸惑いはありましたが、元々明るく、前向きな研修生が多かったので、その日はとにかく楽しく飲みました。研修の打ち切りに伴い、特定政策課題レポートの締め切りも延びるのではないかという淡い期待もあり、翌日は遊びに出かけるメンバーもいましたが、私はその週末には子ども達が上京、その次の週末には自身の熊本城マラソン出場のため帰熊の予定があったため丸 1 日レポート作成に費やしました。

結果的に私たち第 1 部・第 2 部特別課程第は、最後まで研修を受講でき、グループ演習を含む、どの課題の締め切りも延びることなく無事卒業しました。

4 研修中の楽しみ

研修中の楽しみは何といっても研修生同士の交流だったと思います。初日は最初に声をかけた 6 階の研修生と一緒に、6 階フロアー会に入れてもらいました。その後も 6 階からは繰り返しお招きいただき、交流の輪が広がりました。他にも「政令市会」、2 部課程の人たちと合同の「九州会」、自治会でのランチミーティング、グループ演習メンバーとの食事会など、多くの研修生との交流が深まりました。

また自治会役員の自己紹介でマラソンの話をしたところ、朝から一緒に走ったり、話をするきっかけになった研修生もいました。

同じフロアーのメンバーとは夜になると談話室に集まり、様々な話をし、自分たちの

将来についても励まし合ったりして、それは私の糧になりました。初めての休みにはフロアーメンバーと寄席を観たり、昼飲みツアーを企画し新宿まで出かけたり、私が熊本城マラソンを走った週末に他のメンバーは吉祥寺や鎌倉まで観光に出かけ、交流を深めていました。

5 さいごに

自治大で何を学んだかといわれると、一流の講義から得られる知識もさることながら、3 つの課題と 1 つのディベート演習に取り組む中、様々な意見を持つ人たちのコンセンサスを得ながら、よりよいものを作り上げていく楽しさだったと思います。

そのためには日頃から、その「人」を知り、交流を図り相互理解しておくことが大切なのだとは再認識できました。

全国の研修生との多くの交流は今後の私の宝物になりましたし、このような機会を与えてくださった職場や家族に感謝しながら、多くの人の役に立つ自治体リーダーを目指していきたいと思っています。



(自治大学校中庭にて撮影)